

## SBR10 取扱説明書

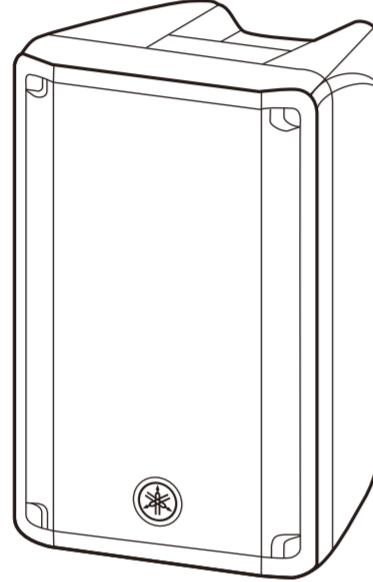
このたびは、学校用モニタースピーカーSBR10をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、電子楽器やマイクを接続して使用するアンプ内蔵のスピーカーシステムです。この取扱説明書では、学校での授業や部活動、イベントなどで、楽器やマイクを接続して使用する方法を説明しています。本製品のさまざまな機能を十分にご活用いただくために、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

本書の「使ってみよう」は、小学校4年生以上を対象に説明しています。

裏面の「安全上のご注意」をご使用の前に必ずお読みください。

## 付属品(お確かめください)

- 電源コード1本
- 取扱説明書(本書)

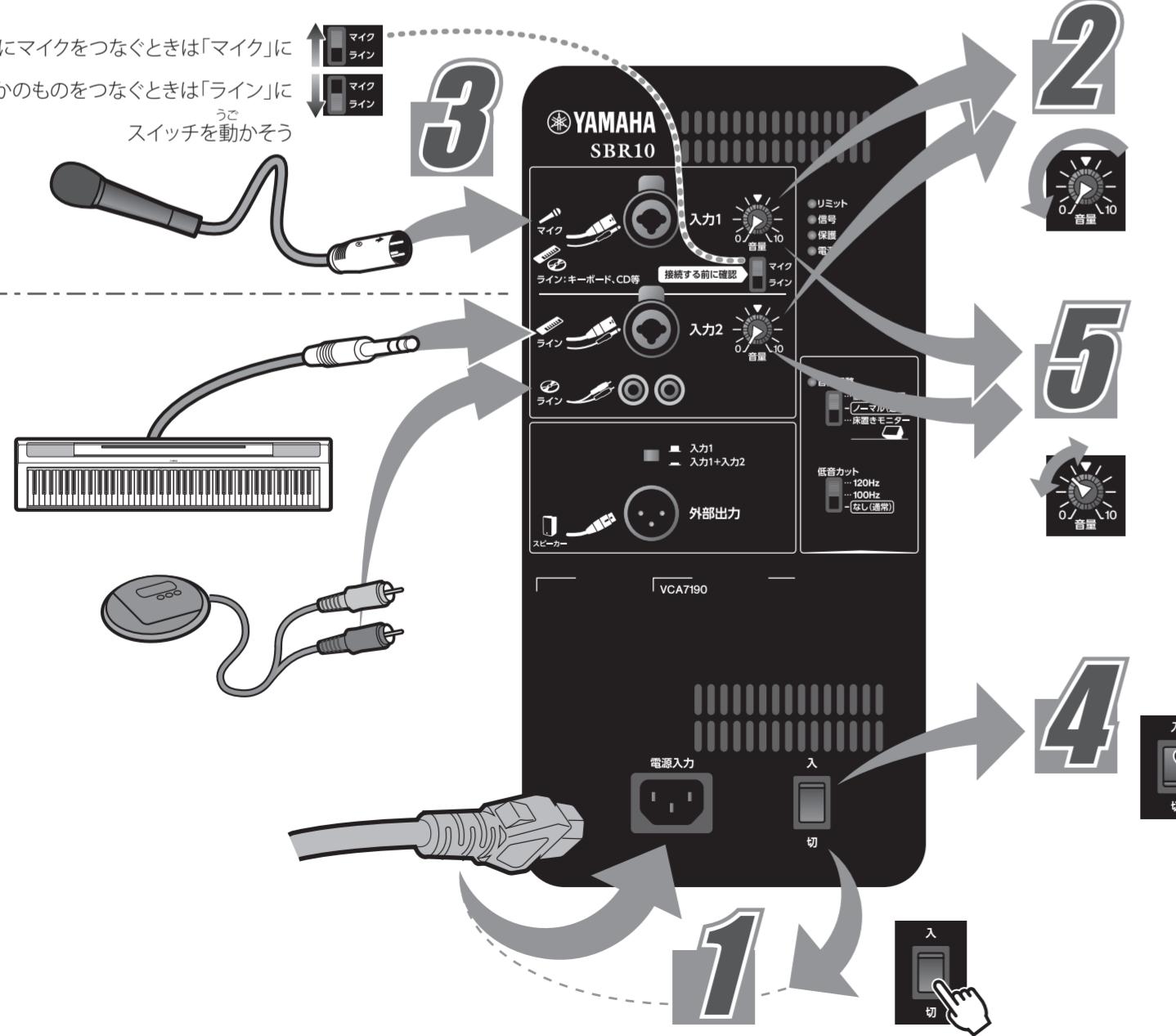


※本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます(裏面右下のURL参照)。

## 使ってみよう

## 1から5まで順番にやってみよう。

「入力1」にマイクをつなぐときは「マイク」にほかのものをつなぐときは「ライン」にスイッチを動かそう



- スイッチを「切」にしてから、電源(でんげん)コードをつなげよう。
- 「入力1」、「入力2」の音量を「0」にしよう。
- マイクや楽器、CDプレーヤーなどをつなげよう。
- スイッチを「入」れよう。
- 音量を調節しよう。  
大きな音を出したときは「リミット」ランプがつきっぱなしにならないようにしよう。

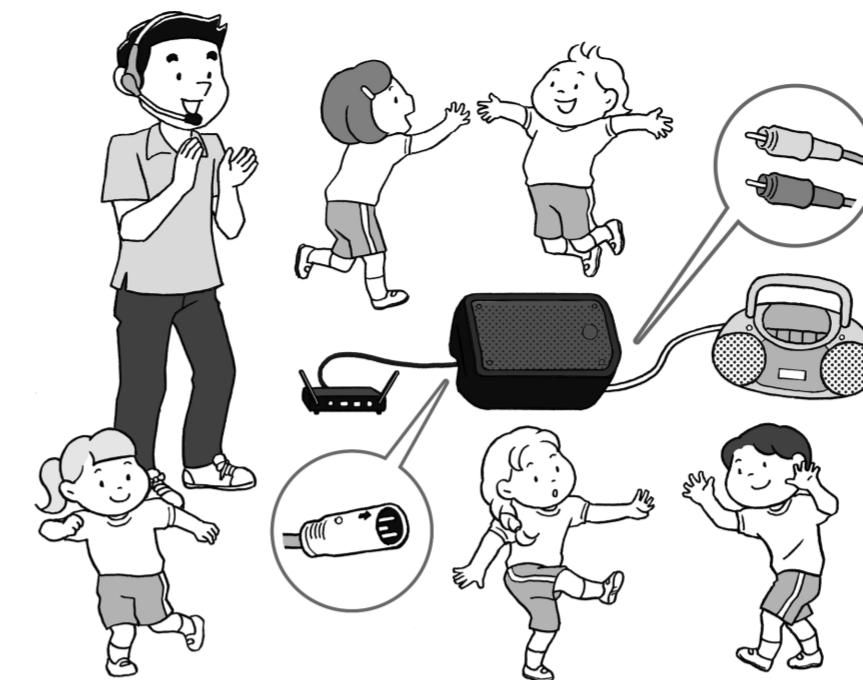
JA VCA7200  
保証書付

## 仕様

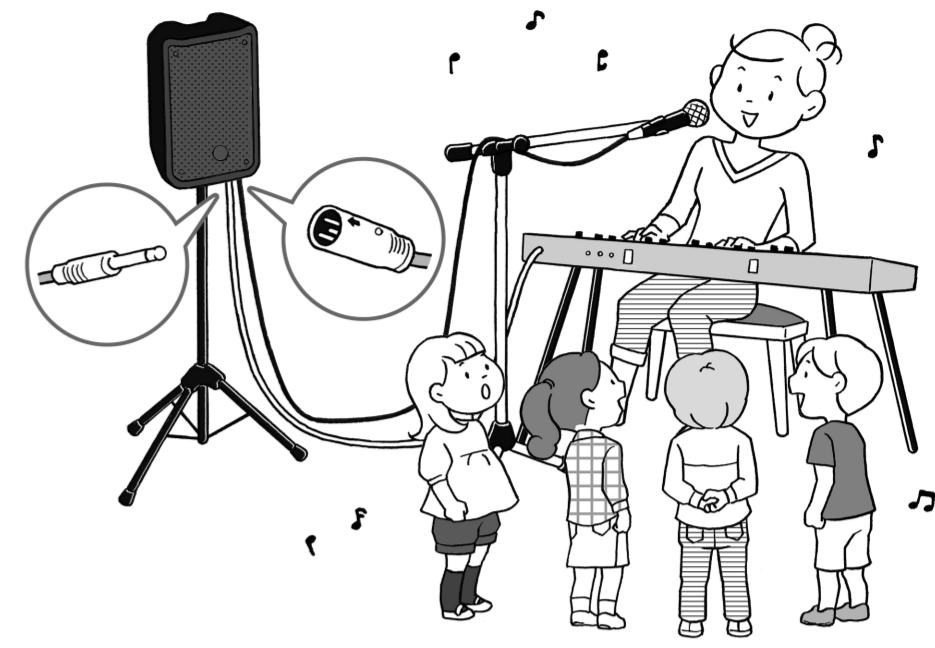
主要規格	SBR10
形式	バイアンプ2wayバスレフ型 パワードスピーカー
再生周波数帯域(-10 dB)	55 Hz - 20 kHz
公称指向角度	水平90° x 垂直60° 定指向性(CD) ホーン
最大出力音圧(実測値ピーカー)	129 dB SPL
IECノイズ@1 m	
クロスオーバー周波数	2.1 kHz
パワーアンプ 定格出力	700 W (LF: 500 W, HF: 200 W) 連続 325 W (LF: 260 W, HF: 65 W)
コンポーネント	LF 10"コーン、2"ボイスコイル HF 1"ボイスコイル コンプレッションドライバー
寸法(幅x高さx奥行き、ゴム足を含む)	308 x 493 x 289 mm
質量	10.5 kg
キャビネット材質、色	プラスチック、黒
ハンドル	天面 x 1
ポールソケット	直径35 mm 底面 x 1
リギングポイント	底面 x 2 (M8 x 15 mm)
別売プラケット	BBS251、BCS251、BWS251-300、 BWS251-400
コネクター	入力 入力1: コンポ x 1、 入力2: コンボ x 1 + RCAピン x 2  出力 XLR3-32 x 1 (入力1バラレルスルー または入力1+入力2ミックス)
入力感度(LEVEL: センター)	入力1: ライン: +10 dBu、 マイク: -22 dBu、 入力2: +10 dBu
最大入力レベル	入力1: ライン: +24 dBu、 マイク: -8 dBu、 入力2: +24 dBu
電源電圧	100 V, 50/60 Hz
消費電力	60 W (1/8出力時)、 18 W (アイドル時)

## 使い方の例

## ダンスの授業に

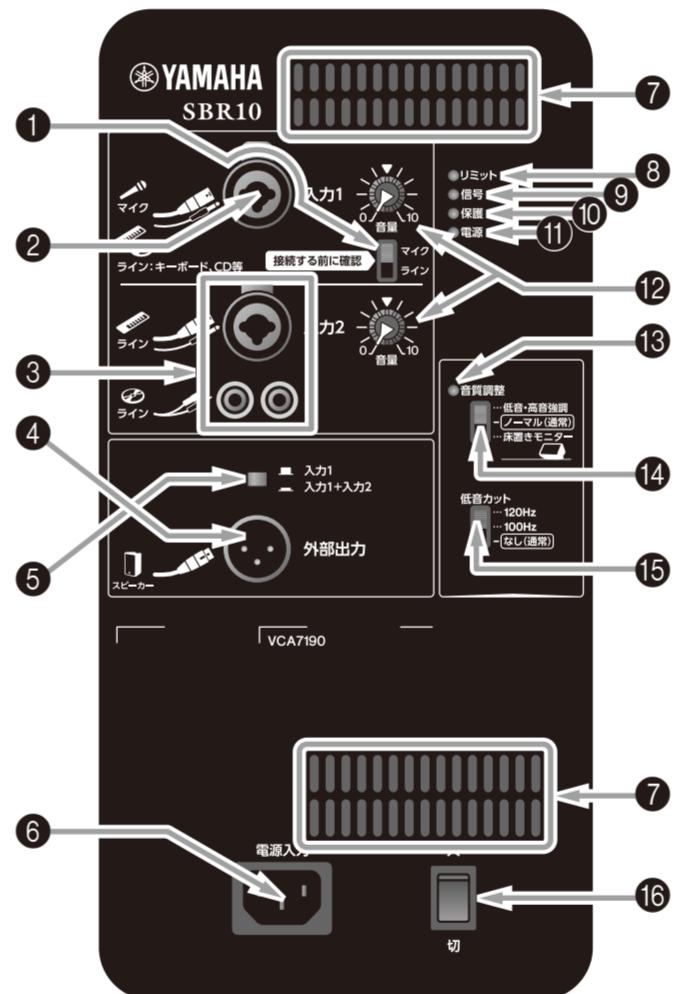


## 音楽会や合唱に



## 名前と役割

## 背面



## ④ [外部出力]

外部スピーカー(別のSBR10など)を増やして音を出したいときは、ここにケーブルをつなぎます。ここにつないだスピーカーから出す音は、「入力1/入力2+入力2」スイッチで切り替えられます。ここには、下のケーブルをつなげられます。

XLR(キャノン/メス型)

## ⑤ [入力1/入力1+入力2]スイッチ

「外部出力」につないだスピーカーから出す音を、このスイッチで切り替えられます。スイッチが出っ張っているとき(■)は、「入力1」につながっているマイクや楽器の音だけが外部スピーカーから聞こえます。スイッチが押されているとき(□)は、「入力1」と「入力2」につながっているマイクや楽器の音がまとめて外部スピーカーから聞こえます。押してカチッと音がするたびにスイッチの状態が切り替わります。

## NOTE

「入力1」(■)が選ばれているときは、「音量」ツマミの状態に関わらず、入ってきた音量をそのまま外部スピーカーに送ります。

⑥ [電源入力]

付属の電源コードをここにつなぎます。電源コードをこのスピーカーにつないだ後で、プラグをコンセントに挿してください。外すときは、プラグをコンセントから抜いてから、電源コードをスピーカーから外してください。

## ⑦ 通風孔

このスピーカーが熱くなり過ぎないように、ここから空気が出ます。この穴をふさがないでください。

## ⑧ [リミット]ランプ

このスピーカーから出る音が大き過ぎると、赤く光ります。このランプがつきっぱなしにならないように、「音量」を下げて調節してください。

## ⑨ [信号]ランプ

このスピーカーからある程度以上の音が出ていると、緑色に光ります。

## ⑩ [保護]ランプ

このスピーカーが壊れないように保護する仕組みが働いているときに赤く光ります。このランプがついている間は、このスピーカーから音が出ません。このランプがつきっぱなしにならなかったら、電源を切り、ランプが消えるのを確認してから電源を入れ直してください。頻繁にランプがつく場合は、スピーカーが熱くなっている可能性があります。スピーカーの加熱は、音量を下げるごとに改善される場合があります。このランプが消えなくなってしまったら、「ヤマハ修理ご相談センター」(ウラ面)にお問い合わせください。

## ⑪ [電源]ランプ

電源が入っていると、緑色に光ります。

## ⑫ [音量]ツマミ

「入力1」、「入力2」につないでいるマイクや楽器などの音量を変えられます。

## NOTE

大きな音を出したとき、「リミット」ランプがつきっぱなしにならないように、このツマミを使って調節してください。

## ⑬ [音質調整]ランプ

「音質調整」スイッチを「ノーマル(通常)」以外にしていると、黄色く光ります。

## ⑭ [音質調整]スイッチ

このスピーカーの音質を変えます。

- 「低音・高音強調」 → 低音と高音を目立たせてメリハリのある音にします。
- 「ノーマル(通常)」 → マイクや楽器の音をそのまま出します。
- 「床置きモニター」 → 床置きモニターとして使うときに聞こえやすくなるように、低音を弱めて中高音を聞こえやすくします。

## ⑮ [低音カット]

通常は「なし(通常)」で使用します。マイク使用時の「ボーン」という低い音や、息遣いの音が気になるときは、「[100Hz]」や「[120Hz]」を試して、自然に聞こえる方に切り替えてください。

## ⑯ 電源スイッチ

「入」にすると電源が入り、「切」にすると電源が切れます。

**警告** 急に大きな音が出て、聴覚障害の原因にならないように、「入力1」と「入力2」の音量を両方とも「0」にしてから電源を入れてください。電源を入れるときは、「マイクや楽器など」の順番に、このスピーカー→マイクや楽器などを順番にしてください。

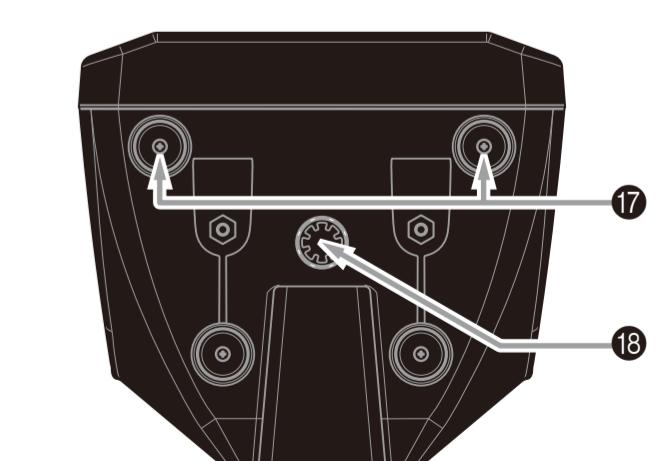
## 注意

電源スイッチが「切」のときも少しだけ電流が流れています。長時間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

**NOTE** 電源を短時間で入れたり切ったりすると、正しく動かないことがあります。電源を入り切りしたら、次は5秒以上待ってから入り切りしてください。

2台以上のスピーカーを使うときは、1台ずつ電源を入れてください。いっ�んに入れると、正しく動かないことがあります。

## 底面



## ⑰ リギングポイント(M8)

このスピーカーを壁や天井に取り付けるときに使うネジ穴です。取り付けについては、このスピーカーを買ったお店に相談してください。

## ⑱ ポールソケット

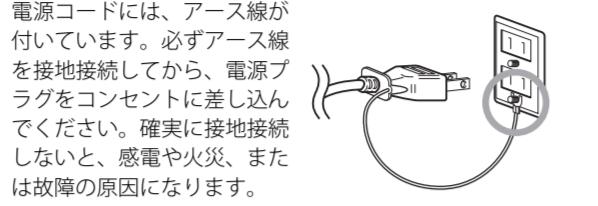
別売りのスピーカースタンド(35 mm径)やスピーカーボールにこのスピーカーを取り付けられます。詳しくは、このスピーカーを買ったお店に相談してください。

## 安全上のご注意

### 接続



- 接地接続は、必ず主電源プラグを主電源につなぐ前に行なう。
- 接地接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行なう。



本製品を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。



スピーカーを下げるためにスピーカーのハンドルを使用しない。スピーカーが落として破損したり、けがをしたりする原因になります。



スピーカーのリアパネルを壁に押しつけない。スピーカーを壁に押しつけたときに、プラグが壁に接触し、電源コードが外れてショートするなど故障や火災の原因になることがあります。

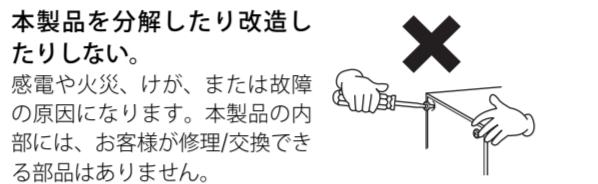


- 電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。
- 確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。

### 分解禁止



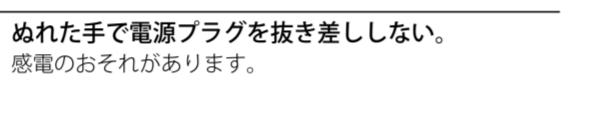
- 本製品を分解したり改造したりしない。
- 感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。



### 水や火に注意



- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。
- 内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 感電のおそれがあります。



- 本製品の近くで、火気を使用しない。
- 火災の原因になります。



### 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

生徒のみなさんへ:安全のため、先生や保護者の方など、大人の指示をよく聞いて、従ってください。

### 警告」「注意」「注記」について

誤った取り扱いをするところが想定される内容を、危険や損害の大きさと切迫の程度で分けて掲載しています。

### 記号表示について

本製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

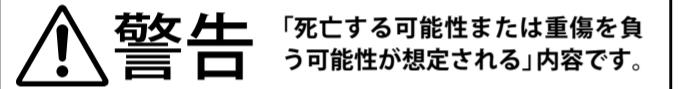


禁止を示す記号



行為を指示する記号

- 点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。



「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

### 異常に気づいたら

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 電源コード/プラグが破損した場合
- 製品から異常ににおいや煙が出た場合
- 製品の内部に水や異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 製品に亀裂、破損がある場合
- そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

### 電源/電源コード

電源コードが破損するようなことをしない。

- ストープなどの熱器具に近づけない
- 無理に曲げない
- 傷つけない
- 電源コードに重いものをのせない

感電や火災の原因になります。

電源は本製品に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源コードは、必ず付属のものを使用する。

また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。

付属の電源コードは日本国内専用です。

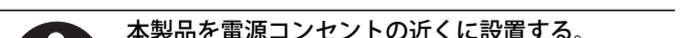
電源プラグのほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。



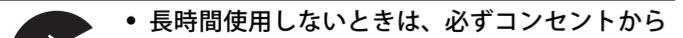
電源プラグは根元まで確実に差し込む。

火災やショートのおそれがあります。



本製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。電源プラグに容易に手が届き、操作ができるように設置してご使用ください。



長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

雷が鳴りだしたときは、本製品や電源プラグに触らない。

感電や火災、故障の原因になります。



塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



この「安全上の注意」は先生や保護者の方向けに書かれています。ご使用の前によくお読みになり、生徒さんが取り扱う場合は、適切にご指導ください。

生徒のみなさんへ:安全のため、先生や保護者の方など、大人の指示をよく聞いて、従ってください。

## 困ったときは

### 電源が入らない ([電源] ランプが光らない)

#### 1. 同じコンセントにつながっている他の機器の電源はありますか?

入る → 2へ

入らない → コンセントのブレーカーが落ちていないか確認してください。他の機器の電源が入るコンセントに、このスピーカーをつなげてください。

#### 2. この電源コードは、このスピーカーとコンセントにしっかりとつながっていますか?

つながっている → 3へ

つながっていない → ケーブルを、このスピーカーとマイクや楽器などにしっかりと差し込んでください。

#### 3. 電源スイッチは「入」になっていますか?

なっていない → 電源スイッチを「入」にしてください。

光っている → 4へ

光っていない → 電源を入れてください。電源が入らない場合は、左記の「電源が入らない([電源] ランプが光らない)」をご確認ください。

#### 4. [保護] ランプは赤く光っていますか?

光っていない → 5へ

光っている → スピーカーが熱くなり過ぎて保護されています。冷めて[保護]ランプ消えるまで待ってから電源を入れてください。頻繁に[保護]ランプがつくときは、音量を下げると改善される場合があります。

#### 5. マイクや楽器、CDプレーヤーなどをつなげた「入力1」や「入力2」の[音量]を上げたら、音は出ますか?

出ない → 故障の可能性があります。お買い上げの販売店や「ヤマハ修理ご相談センター」にお問い合わせください。

### 音が出ない

#### 1. マイクや楽器、CDプレーヤーなどの電源は入っていますか? CDプレーヤーなどの曲は再生されていますか?

入っている/再生されている → 2へ

入っていない/再生されていない → マイクや楽器、CDプレーヤーなどの電源を入れ、音量を上げて、音を出したり、再生したりしてください。

#### 2. このスピーカーとマイクや楽器、CDプレーヤーなどはしっかりとつながっていますか?

つながっている → 3へ

つながっていない → ケーブルを、このスピーカーとマイクや楽器などにしっかりと差し込んでください。

#### 3. このスピーカーの[電源]ランプは緑色に光っていますか?

なっていない → 電源スイッチを「入」にしてください。

光っている → 4へ

光っていない → 電源を入れてください。電源が入らない場合は、左記の「電源が入らない([電源]ランプが光らない)」をご確認ください。

#### 4. [保護] ランプは赤く光っていますか?

光っていない → 5へ

光っている → スピーカーが熱くなり過ぎて保護されています。冷めて[保護]ランプ消えるまで待ってから電源を入れてください。頻繁に[保護]ランプがつくときは、音量を下げると改善される場合があります。

#### 5. マイクや楽器、CDプレーヤーなどをつなげた「入力1」や「入力2」の[音量]を上げたら、音は出ますか?

出ない → 故障の可能性があります。お買い上げの販売店や「ヤマハ修理ご相談センター」にお問い合わせください。

### ハウリングする (スピーカーから耳が痛くなるような「キーピング」という高音が出る)

#### マイクがスピーカーの方を向いていませんか?

向いている → マイクをスピーカーのほうに向いてください。スピーカーから出た音がマイクに入るとマイクとスピーカーの間を音がループしてハウリングが発生します。

向いていない → 「入力1」や「入力2」の音量を下げると改善される場合があります。

### マイクの音が小さい

#### [マイク/ライン]スイッチが「ライン」になっていますか?

なっている → スイッチを「マイク」に切り替えてください。

なっていない → 「入力1」の音量を上げてみてください。音量を上げても音が小さいままの場合は、このスピーカーを買ったお店に相談してください。

### 楽器からの音が大きすぎたり ひずんだりする

#### [マイク/ライン]スイッチが「マイク」になっていますか?

なっている → スイッチを「ライン」に切り替えてください。

なっていない → 楽器側のボリュームを下げてみてください。

## アフターサービス

### お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

#### ●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

お客様コミュニケーションセンター  
音楽修理ご相談窓口

**0570-013-808**  
ナビダイヤル

\* 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。

上記番号でつながらない場合は **053-411-4744**

受付時間 月曜日～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

オンラインサポート <http://ip.yamaha.com/support/>

#### ●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

**0570-012-808**  
ナビダイヤル

\* 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

FAX 03-5762-2125 東京(北関東/東北/関東/中部/信越/関西)

06-6649-9340 西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄)

修理品お持ち込み窓口

東日本サービスセンター

〒143-0060 東京府大田区平和島2丁目1-1

京浜オーディオセンター内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0006 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17

ナシバ本セイビル7F

FAX 06-6649-9340